



いつでも・どこでも

「ミニ・企画展」

… 2012 年 1 月 24 日 (火) ~ 3 月 25 日 (日) …

福山市人権平和資料館は、1994 年（平成 6 年）8 月 30 日に開館し、今年で 18 年目を迎えます。この間の入館者は 21 万 3700 人（2011 年 12 月末現在）を超え、ここ数年は、年間 約 1 万人を推移しています。最近では、インターネット等であらかじめ展示内容を調べて来館される団体も多く、当資料館の存在が、広く県内外の人々に認知されるようになったと考えています。

また、年間数回、タイムリーな話題で開催している企画展も好評で、当館が作成し収蔵する展示パネルも多分野にわたり、かなりの数量になりました。

今回の企画展は、これまで作成したパネルを「ミニ・企画展」としてコンパクトに再編集し、そのなかの数種類を展示するものです。地域の文化祭や学校の教材として使用しやすいようにしていますので、ご活用いただきますことを期待しております。

「ミニ・企画展」パネル

★「私も学校へ行きたい」(ユニセフパネル)
(2006 年作成 B2 版 13 枚)

学校へ行きたくても、行けない子どもたちは、世界で約 1 億 3 千万人といわれており、その大半は女の子です。

教育を奪われた子どもは、自分の才能を伸ばすことができないばかりか、将来にわたって弊害を被ることになります。

パネル写真から、子どもたちの「学校へ行きたい」という強い願いや、学校で学ぶことができる喜び

が、私たちに伝わってきます。



★「子どもの人権…虐待・いじめ・問題行動」
(2008 年作成 B2 版 10 枚)

1989 年 11 月「子どもの権利条約」が国連で採決されました。

しかし世界では、子どもの「生存権」さえ脅かされている状況があり、子どもの人権は厳しいものがあります。経済的に豊かとされる日本の子どもにも、「虐待・いじめ・問題行動」など、子どもの人権が深刻な状況にあります。

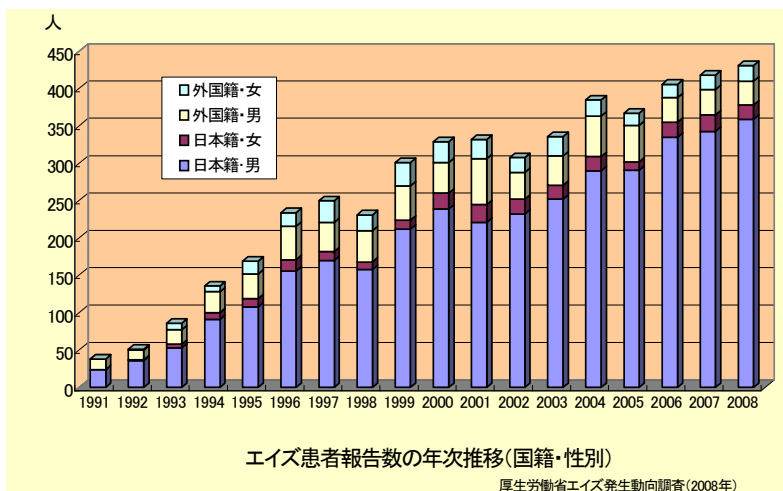
これらの問題について、学校・地域・家庭のなかで、子どもたちと一緒に考え、話し合う教材として編集しました。

「ミニ・企画展」パネル

★「HIV/エイズと人権」

(2009年作成 B2版10枚)

エイズは「ヒト免疫不全ウイルス」に感染することによっておこる病気です。しかし、「こわい病気」・「特別な人が、かかる病気」などの誤解や偏見があるため、感染の防止や早期発見・治療の機会を遅らせる結果となっています。「教育こそ最良のワクチン」と言われており、中学・高校生の性教育の教材として最適です。



★「地球温暖化とその影響」

(2008年作成 B2版13枚)

地球温暖化防止に向けた、私たち一人ひとりの具体的な行動が、いま求められています。



異常気象や海面上昇、農業や生態系への影響など、世界各地で報告されています。パネルは温暖化とその影響

を、多くの写真で分かりやすく紹介しており、小学校から使用できる内容です。

★「地球環境と共存するエネルギー」

(2008年作成 B2版13枚)

福島原発の事故による放射能汚染によって、地球環境と共存するクリーンなエネルギー



への転換と普及が、重要な柱になっています。現在、日本各地で導入されている、地域の特色を生かした石油

や原発に代わる、クリーンで環境にやさしいエネルギーの現状を写真で紹介し、地域の文化祭や学校で利用しやすい内容です。

★「情報化社会とインターネット

・出会い系サイト」

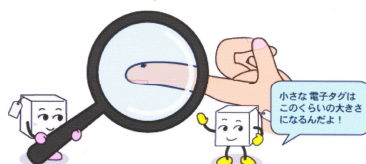
(2006年作成 B2版16枚)

情報化社会は、インターネットを通して世界の人々と情報のやりとりができる「双方向の社会」を実現し、私たちの生活は便利で豊かになりました。しかし情報が一部の人に管理されて情報操作されたり、プライバシーが侵害されたり、悪用されて犯罪や人権侵害を引き起こしたりする事件も多く発生しています。また、インターネット・不正メール出会い系サイトなどによる被害も報告されています。子どもたちが巻き込まれないよう、しっかり話し合ひましょう。

★「ユビキタス社会」

(2006年作成 B2版11枚)

「ユビキタス」は、ラテン語で「どこにでもある」という意味です。



テレビ・冷蔵庫・洋服食べ物など、身の回りのものに電子タグが埋め込まれ、情報のやりとりが出来るようになると、もっと生活が便利で豊かになり、誰もが認められる福祉社会が実現します。